

施策 No.	政策名	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり	主管課	社会福祉課	主管課長名	
1-4	施策名	地域福祉の推進	関係課	児童福祉課、健康推進課、高齢福祉課、介護保険課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	市民	①桜川市人口	見込値	人		37,653	37,269	36,885	35,356	34,734
実績値						37,653	36,794	36,120		
見込値										
②地域福祉活動を行っている市民の割合			目標値	%		28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
						実績値	20.2	18.7	21.2	
		目標値								
		目標値								
目標値										
										実績値

成果指標設定の考え方	○地域で支え合いの意識を高め、福祉活動を実践することによって、①アンケートによる「地域福祉活動を行っている市民の割合」、②「高齢者見守りネットワーク事業所登録件数」、③「社会福祉協議会にボランティア登録している人数」を指標とした。
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①地域福祉活動を行っている市民の割合は、市民アンケート「継続的に行う」、「たまに行っている」より求める。②高齢者見守りネットワーク事業所登録件数は、高齢福祉課で管理する高齢者見守りネットワーク事業所登録数より求める。③社会福祉協議会にボランティア登録している人の数は、社会福祉協議会にボランティア保険に加入するために登録している人の数より求める。

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	

背景要因

○地域福祉活動を行っている市民の割合(「継続して行っている」「たまに行っている」)は、令和5年度18.7%であり、令和6年度については21.2%と増加している。
 ○高齢者見守りネットワーク事業所登録件数は、令和5年度119件、令和6年度 件と増加している。
 ○社会福祉協議会にボランティア登録している人の数は、令和5年度は597人、令和6年度は720人と増加している。要因としては、里親関係のボランティアが登録されたことによるものである。
 ○全ての指標において増加傾向にあるため成果向上と判断した。

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	

背景要因

○地域福祉活動を行っている市民の割合は、令和6年度は目標値29.0%に対して実績値21.2%と下回った。
 ○高齢者見守りネットワーク事業は、市内の事業所とほぼ協定を結んでおり、今後も新たな事業所に協力を求めていく方向である。
 ○社会福祉協議会にボランティア登録している人の数は、令和6年度は目標値580人に対して実績値720人と上回った。要因としては、里親関係のボランティアが登録されたことによるものである。

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>民生委員児童委員協議会助成事業について、岩瀬地区44名、大和地区16名、真壁地区40名、計100名の民生委員児童委員が地域社会の福祉増進を目的として、訪問活動の中で高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等に関する多様な相談を受け、市へ情報提供を行ったり、県主催研修や単位民児協の全体研修などに参加し、活動に必要な知識を得るための支援を行った。</p> <p>福祉センター管理事業について、岩瀬・真壁の各センターが地域福祉増進の拠点施設として、また人々の交流の場として機能しており、令和6年度は、岩瀬が延18,628人、真壁が延10,006人の利用実績であった。</p>	<p>民生委員児童委員協議会助成事業については、今後も事務局として委員に必要なサポートを行い、活動しやすい環境づくりを行うとともに、委員の地域福祉に対する理解を促進し、ボランティアに対する意識を醸成する一助となる活動を行っていく。</p> <p>福祉センター管理事業については、岩瀬・真壁ともに施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えてきているが、地域住民に引き続き安全に利用していただく為、指定管理者である桜川市社会福祉協議会の協力の下、適切に維持管理を行っていく。</p>